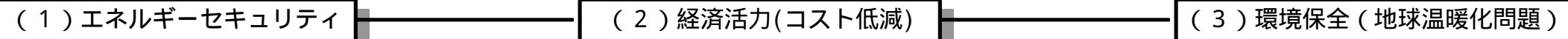


わが国のエネルギーをめぐる情勢と課題（概要）

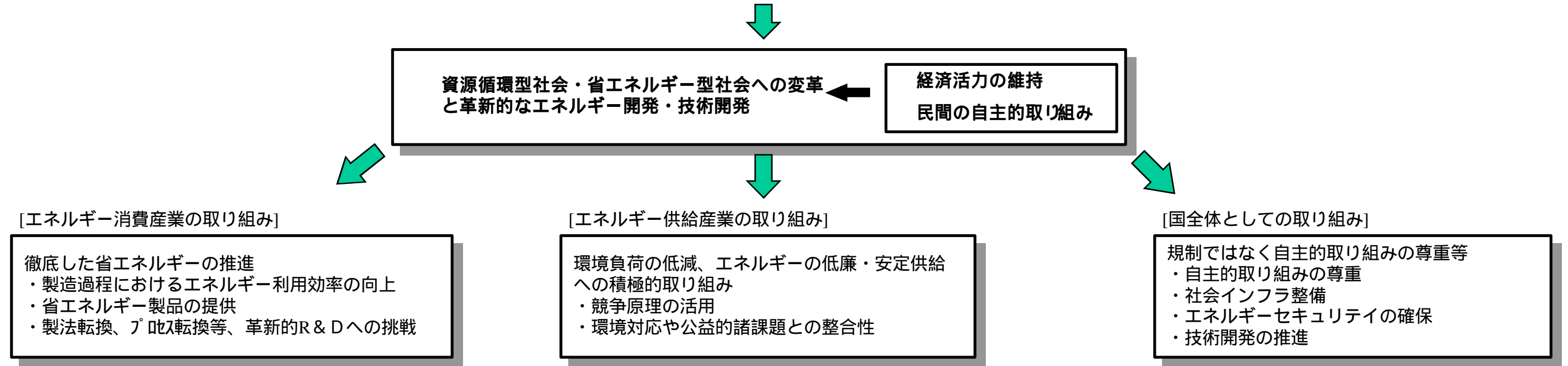
1998.9.22
資源・エネルギー対策委員会

- 省エネルギー型社会の実現に向けて -

1. エネルギーをめぐる情勢変化



2. エネルギー問題に取り組むに当たっての基本的考え方(エネルギーセキュリティ、経済活力、環境保全の同時達成)



3. 今後の課題

[1] 当面の課題

- (1) 省エネルギーの推進
 - 1) 企業・業界団体の自主行動計画の着実な実施
 - 2) 社会・経済構造並びにライフスタイルの変革
- (2) エネルギーコストの低減
 - 1) 電力市場の活性化(電力の部分自由化の推進、企業の自家発電の活用)
 - 2) 輸入制限の高率関税の是正(重油関税)
 - 3) 保安に係る規制緩和
- (3) エネルギーの安定供給確保
 - 1) 原子力の推進(一層の安全確保、放射性廃棄物の処分)
 - 2) 自主開発原油プロジェクトへの取り組み
 - 3) 天然ガスパイプラインの可能性の検討
- (4) 発電部門の地球温暖化対策
 - 1) 電源ベストミックス構築に向けた継続的な取り組み
 - 2) 新エネルギーの普及拡大

[2] 技術開発の積極的な推進

- 中期的テーマ
 - ・化石燃料の高度利用技術の確立(CCT等)
 - ・蓄電技術
 - ・燃料電池
 - ・核燃料サイクルの確立
- 長期的テーマ
 - ・水素エネルギーの製造・利用技術
 - ・核融合炉(ITER等)
 - ・未開発資源の活用技術の確立(メタンハイドレート等)
 - ・CO₂の回収・固定化技術など

[3] 国際的に取り組むべき課題

- (1) 共同実施、排出権取引等、国際的柔軟性措置への対応
- (2) エネルギーセキュリティの確保
 - 1) 石油備蓄の実効性確保
 - 2) アジア地域のエネルギー需給の安定化への取り組み
 - 3) 資源国との関係強化

4. 提言 - 結びに代えて -

- 1. エネルギー問題を経営の中心課題のひとつに
- 2. 原子力の強力な推進
- 3. 民生・運輸部門の省エネルギーの徹底